

くらしワンストップ MORO HAPPINESS 館

埼玉医療福祉会 丸木記念福祉メディカルセンター

在宅療養支援診療所 HAPPINESS 館クリニック

社会福祉法人埼玉医療福祉会 および 埼玉医科大学グループは、「医療と福祉の理想郷」を目指し、住み慣れた地域で「あなたらしく生きる」お手伝いをします。

HAPPINESS 館クリニックのコンセプトは、

1. 身近なかかりつけ医として
2. 地域のための埼玉医科大学病院群への窓口として
3. 病気のステージやご希望の療養の場に相應しい、医療と介護の包括的支援
4. 最期まで住み慣れた地域で「その人らしく生ききる」ための在宅医療の提供
5. 地域の一員として

以上を目標に地域貢献してまいります。

1. 身近なかかりつけ医として

- 大学病院を受診するほどのことなのか、まずは相談にのってほしい。
- あまり積極的な検査や治療はしたくない。
- 最期は在宅看取りを希望するのでつながっておきたい。
- 物忘れがひどくなったみたいで心配。

このような総合診療・在宅医療の窓口として、ご活用ください。

2. 地域のための埼玉医科大学病院群への窓口として

当院は、「地域のための医科大学」である埼玉医科大学グループの一員です。精査加療・入院等が必要と判断した場合には、状態に応じて埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、埼玉医科大学国際医療センター、そして丸木記念福祉メディカルセンター等の関連施設へご紹介することが可能です。

3. 病気のステージやご希望の療養の場に相應しい、医療と介護の包括的支援

病気にはステージによって相應しい医療が異なります。必ずしも急性期医療の大学病院で治療し続けることがベストとは限りません。場合によっては、医療よりも療養の場の選択も含めた「ささえるケア」のほうが重点を占めることもあります。大学病院と地域のつなぎ役として、多職種が集う「ワンストップ」ならではの包括的な支援をいたします。

4. 最期まで住み慣れた地域で「その人らしく生きる」ための在宅医療の提供

「病気を治して不老長寿」が医療の理想なのは言うまでもありませんが、それでは今までの医療は全て敗北ということになってしまいます。人は必ず「死」を迎えます。死は医療の敗北ではありません。また、病院は病気を治すところですが必ずしも死ぬ場所ではありません。その人らしく、住み慣れた地域で最期まで「生きるための医療」をご提供するため、地域の医療機関、訪問看護ステーション等と密接に連携して、24時間365日体制で毛呂山町初の「在宅療養支援診療所」として稼働し、安心の在宅医療・在宅緩和ケアを実践いたします。

5. 地域の一員として

くらしワンストップ MORO HAPPINESS 館は、地域に寄り添う施設です。その中に設置される HAPPINESS 館クリニックは、単なる一医療機関ではなく、地域の皆さんとともに歩み、ともに成長し、同じ目線で病気や老いと向き合う同士です。地域の皆さんに安心してご利用いただけるよう、「顔の見える、同じ目線の」クリニックを目指してまいります。